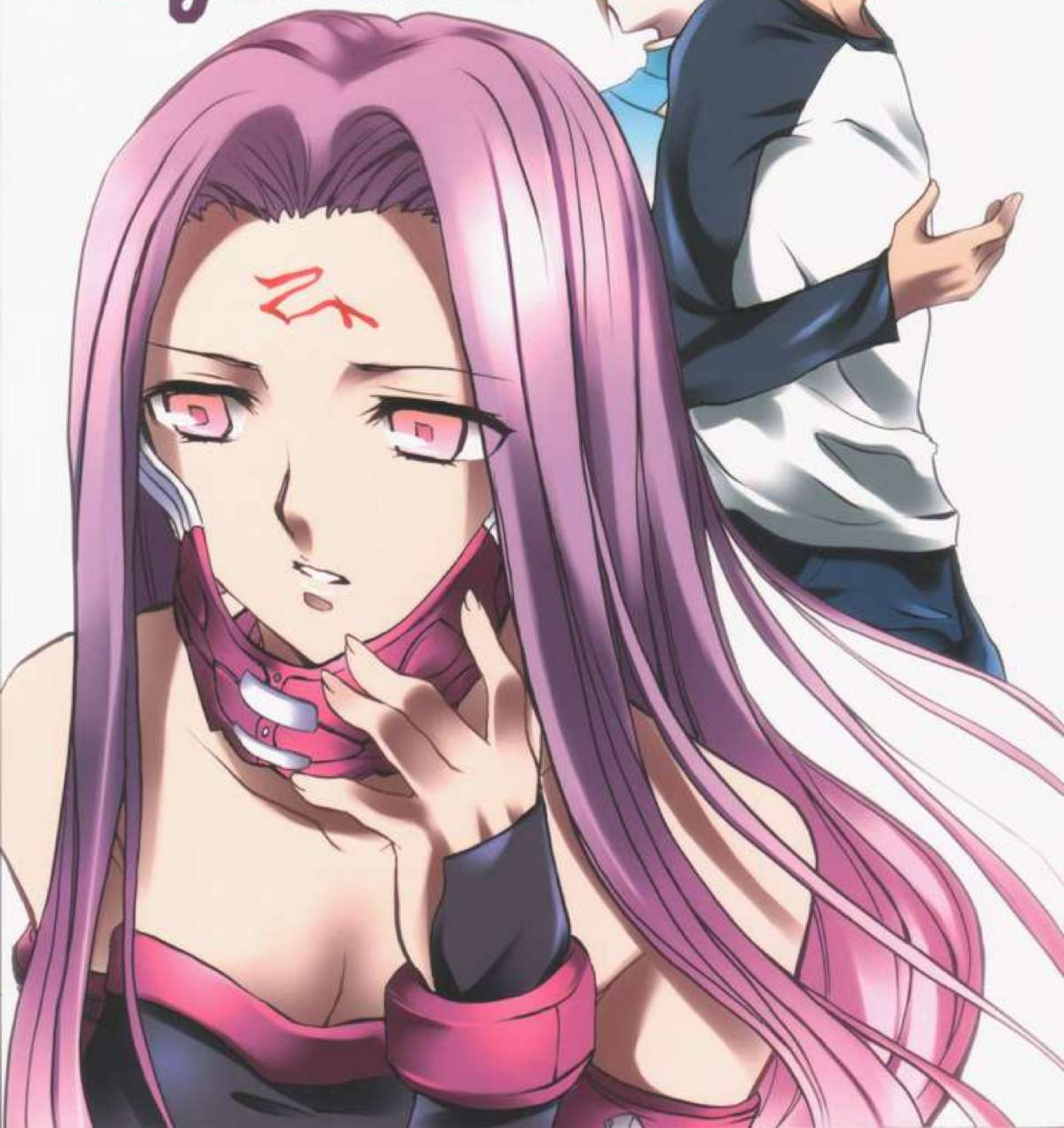


Face

stay at the time



オレが平凡な
日常から無理矢理
隔離されて

はや数日
そろそろ現状に
実感が出てきた

それでも別に
オレのやることが
変わるわけじゃなく

なんか
夢…見たな



むしろ今は
この非日常が

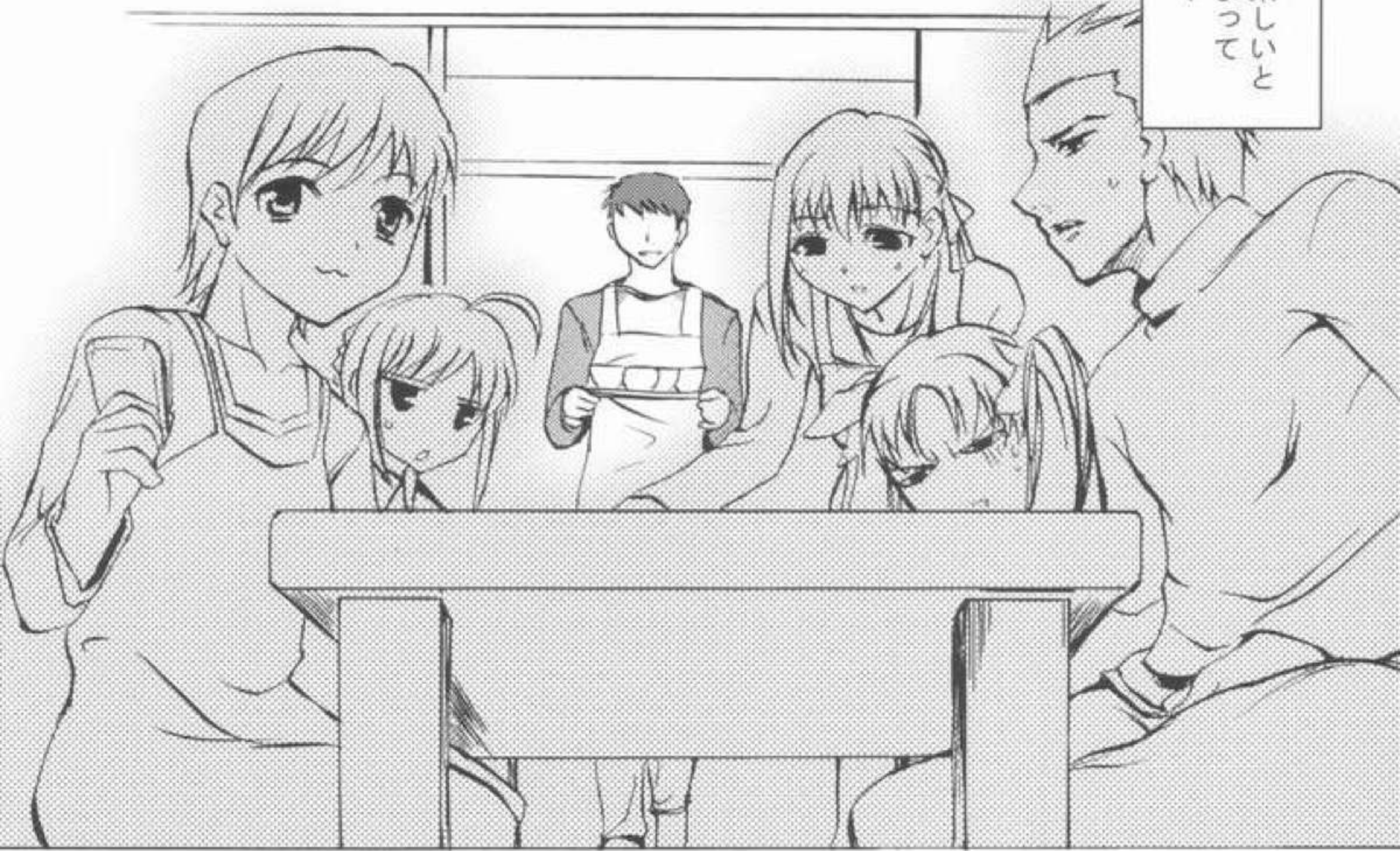
そっちのスープの
味見してくれないか

おはよう桜

あっ先輩
もう仕度を？

今すぐお手伝い
しますね…っ

少しだけ楽しいと
感じてしまっ
たり……





だからさ…何か
他の媒体を使つて

その封印は
作れないかな

ある程度強い
魔力を帯びた
媒体を使えば…

しかし

なぜそうまでして
このマスクを
外させたいのです？

それは—

ライダーは
素顔の方が絶対

可愛いと
思うからさ



まったく
あなたは…

ああ…
セイバー

いまいち
威圧感が
無いわ…

セイバー

貴女は少々
食い意地が
張りすぎです



ラストオーダー

というわけでね

先行…



柳洞寺には
サーヴァントが
いるわ

アーチャーが
確認したのだけど

今夜柳洞寺を
攻めようと思うの

で





私たちが向こうの
マスターを
叩くのよ

柳洞寺の人達を
盾にされるのは
まずいわ

だから敵の
サーヴァントを
押さえてる間

こうも早く
姿を見せるとは…

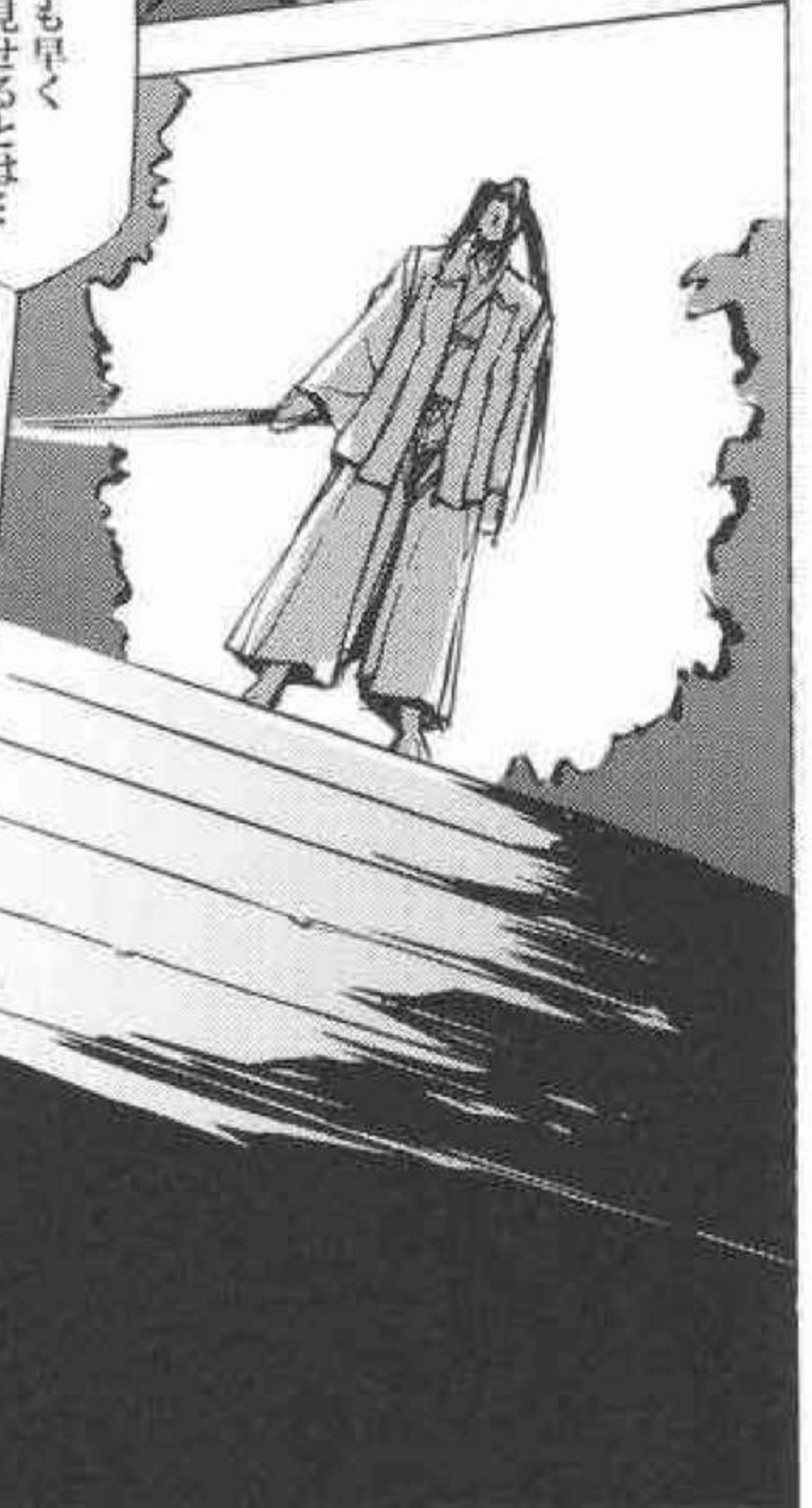


源はここで
派手に暴れるよう
言いましたか—

貴方がたは
宝具を使いたくは
ないでしょう

二人とも

……





騎士道には
反しますが

ここは皆で

そうだな

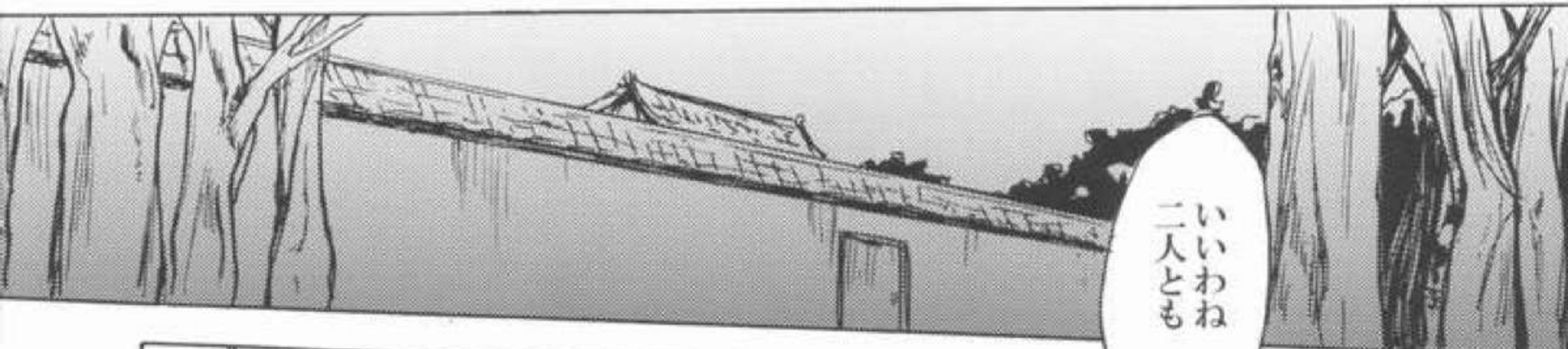
まどろっこしい
ことをせず
一気に――



ほう…
一息に来るか

それも
兵法よ…な





いいわね
二人とも



危険を感じたら
すぐに令呪を…

っ！



中に入れた
からには
こっちのものよ



え…





トクン
アキカ







まずいっ

合呪を—



間に— 合わねえ



えっ



なんだよ
アレは…!!

いいから早くっ
今は逃げるのよ!



アーチャー!

あ……



……え

奪われる感触
削られる感触
消えゆく感触

なんだこの黒いものは……?
ああ……この落ちてゆく感触



こういう事が
あり得るから

凜から離れたく
なかつたの
だがな……



はあああッ

ドゥ

オ
オ



『約束された—』

勝利の剣—!!



ひあ

ア



え?

きや

少し乱暴にするが
我慢してくれ凜

ヒョイ



うおっ





くそ…俺はなんて
情けないんだっ

誰も守れないで
なにもできないで…

ちくしょう…

それにしてもっ

ライダーの横顔が…
すこく綺麗で…



んまっ
はあ

あっ

はあっ



ふん

なんだ

はっ

やっぱり素顔の
ライダーの方が

ああ…



ずっと…
可愛いな…

ん

え…

ボシ

い…やっ

そんなッ

んくうッ

あつ…ふうん!

ちゃ

う…あぁ

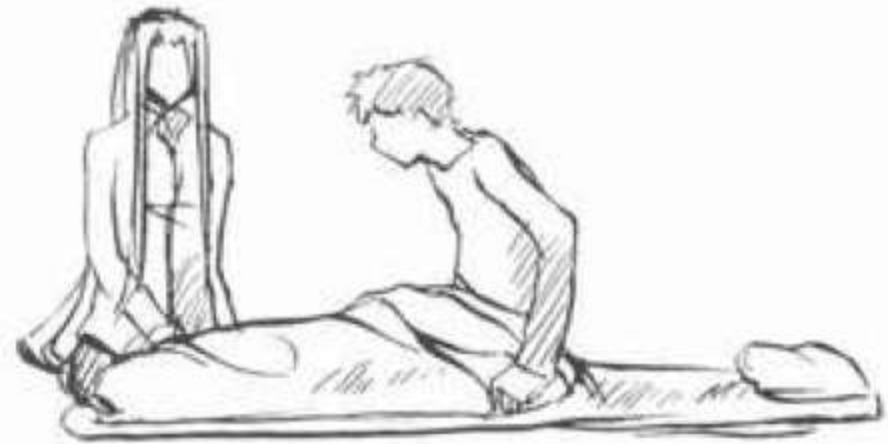
ちゃ



桜には凜が付いて
います…治療を行って
いるようですが

生命に別状はない
とのことですよ

セイバーらに
関してはまだ…
確認していません



そして私は…
お別れの刻です

え…？

とりあえず
良かった…

そっか…

士郎と同様
桜の令呪は
失われました

依り代もなく
魔力は底を
尽きつつあり

現界する力は
もはや…

させるか…

告げる—

汝が身は我が下に
我が命運は汝が瞳に
聖杯のよるべに従い

この意この理に
従うなら—



応えよライダー
ならば我が命運は
汝と共にあらん

…ライダーの
名に懸けて

誓いを受けよう
我が主、士郎よ

よし…これで
契約できた!

遠坂に教えるつもりで
よかったです

よかったですか
…士郎

ここでマスターの
権利を失って
いれぼ…

普通の生活へ
戻れたかも
しれないですよ

…ああ

そうか

そこまで考えて
なかった…

せつかくライダーの
素顔を見れたのに

ここでお別れなんて
寂しいから…さ



衰弱していた
士郎に……その……

無傷だった私は
貴方に魔力を
与えようとしてました

しかし

何故なのかは
わからないの
ですが……

私の魔力が今も
士郎に流れ続けて
しまっているのです

ド
ク
ニ

ですから……
私は魔力が枯渇
した状態に近い

このままでは
戦うことはおろか

聞いていますか？
士郎

あー

つていとはき

アレは夢じゃ……
なかっただのか

さっきのアレは……
俺を助けて
くれてたのか

そっか……

ば





これで
どれくらい

魔力を回復させ
られるか…

ん…

わからない
けど…おツ

ふうう…ん

あっ…
熱い…

オ

チュ



うお

すこ…い

はあ…あ

い…いつ

っは

あ…あーツ!

ああんっ

気持ち…ひ…イ

ガポ

ヌボ

ヌボ

ヌ

オ



すごい…

ライダーの
なか…熱いな

あつ

はア…



や…土郎っ

そんなに
みつめないで…!

なんでさ

やっとライダーの
顔を見れたんだ

ずっとでも
見ていたい…よ

ひあつ

くちゅ

ぬん

あつ

びゅ

びゅ



はア…ああつ

あん

き…たア

ドクン

ドク

あ…熱う…うう…うう…っ!

この冷めない
熱も含めて…

問題は山積みだ

桜のこと
セイバーのこと
柳洞寺のこと
…聖杯のこと



ーん

もう休むよ
…ライダー

でも俺は最後まで
戦える気がしてる

俺はひとりじゃ
…ないから



士郎

どうもはじめまして、えむあです。
もしくはお久しぶりの新刊です。

いやー、Fateのことを語る以前にほんと
ひど過ぎる構成…書き綴りたいことはたくさん
あるんですけど、ここしかスペースが無いー。
いやまあ…いつものことなんですけどね…

とりあえず最後でなんですがこの本のお話に
ついてちょっとだけ説明を。
この本は脳内ライダーシナリオです。
なんだかいろいろよくわからない展開になっ
てますが、それはたいした意味はなくて
ライダーとらぶらぶになるシチュにどうにか
持っていきたかっただけだったりします。
あと、三部作なつもりなんですけど…
どうなるかは謎です。

Fateのコトですが、
ホント、熱いゲームでしたね。個人的には
「うしおととら」のような破滅的？な展開が
非常に燃えましたわ。Fateは燃えゲーだなー。
問題はちよいとえろーすがしょぼーな所です
かね。まあその辺は補完かな…
ってなわけでライダー本。

ライダーには最後の最後でやられました。
って人は多いはずだ！はずなのだあ！
ほら、眼鏡だし。スタイルいいし。うへへ(お

「ライダーに関しては一言あるんだ。
そう、ライダーは絶対にお尻派なんだ。
TYPEMOONで眼鏡といえば尻なのは皆
わかっているはず。しかし誰もそれについて
言及してない。誰かが圧力をかけているとしか

思えないんだ。でもやっぱりライダーは尻。
僕はずっとそう主張し続けていくつもりさ」
ジェームズ・ピーティー(嘘)

というわけで次回予告！
尻交にハマったライダーは日がな一日士郎を
求め続ける。しかしそんな平穏？な衛宮邸に
魔の手が迫る…！ていうか凛や桜が結構衰れ。
…一応この脳内ライダー話は自分の中では
完結してるので、早く続きを描きたいなーと
思ったり…。でもサーヴァントがごっそり
出てきたりギル様大活躍だったり、描くのが
今から大変そうですが…どうなることやら。
とりあえず本家がファンディスクでライダー
シナリオとか作っちゃう前にどーにかしたい
かも。…いや、ファンディスクも早く出て
欲しいものですがー！

にしても男キャラにはことごとく燃えたと
思います。アーチャーとランサーはめっさ
お気に入り。あ…でも小次郎は微妙かな。
シナリオ的にはセイバールートが纏まってて
よかったかな。でも燃えたとやはり凛ルート。
ていうかアーチャールートか。あの背中は
やべえ。そして士郎との対決もやばすぎ。
あのシーンを見て、戦ってる絵を描きたい
なーと思いましたよ。今回は戦闘シーンを
へボいながらも描けて満足。

うわ、もうスペースが…！
あ、タイトルは某Luputaの歌詞から
ふんどってきてますよ。vertigoって曲。
あーもう…この本ホント駆け足過ぎ…
ともあれ少しでも楽しんでいただけたら
幸いです。それでは。

Face

Can you...
stay at the time

発行 くろーヴァー会 / えむあ
発行日 2004.5.30(初版) 2004.10.15(2版)
印刷 Bros様
mail amayan@nyc.odn.ne.jp
URL <http://www1.odn.ne.jp/clover/>

複製・無断転載・WEB上での配布・18歳未満の購読を禁じます

Fate/stay night fanbook



Face
stay at the time

adult only

2004 .くろーヴァー会